



Profile

中野あおい
銀座・あおいクリニック院長、
美容皮膚科・内科医。金沢医科
大学卒業後、大学病院に勤務。
38才のときに東京の病院に移り、
2003年12月に独立し、現在のク
リニックを開業する。女性の永
遠のテーマである「美」を体の
内側と外側から追求。訪れる患
者さんの年齢層は、高校生から
70代までと幅広い。

「患者さんに
喜んでもらいたい」
気持ちちが美容の道へ

中野あおい さん
(45才・美容皮膚科・内科医)



20代

「20代後半、自分の人生を模索していたころです。「私は女として幸せなの？」と自問していました…」



30代

「着物は好きで、一時期かなりはまりました。母から「一人で呉服屋に行くな」と言われています(笑)」



40代

「パリ旅行の写真。TGVに乗るところですね。プライベートで見せる、やわらかな笑顔も魅力的です。」

銀座・並木通りにある、美容皮膚科「あおいクリニック」。2003年末にこのクリニックを開院した中野先生は、「施術がう

まくいき、患者さんの喜ぶ姿を拝見するのは、ほんとうにうれしいものです。最近、医者をやっていてよかったな、死ぬ直前まで医者でいたいな、とよく思

うんですよ。クリニックのコンセプトは、体の内面と外面からの「美と健康の追求」。最先端の機材も積極的に導入。連日、中野先生の助けを必要とするたくさん女性の女性が、クリニックの門をたたきます。

そんな中野先生ですが、初めから美容皮膚科医を目指していたわけではなかったのだとか。「祖父も父も医者だったので、いちばん身近な職業が医者だった」とこともあり、地元金沢の医大に入学。卒業後も大学に残るこ

「いわゆる『雇われ』院長です。ここで美容医療の現状にふれ、いままで大学病院で研究してきたことをよい方向に生かせるかもしれない、老化の原因を追求するだけでなく、もっと前向き

「シミ、シワをとるだけではもの足りない。内面と外面の美容をトータルで見えていきたいんです

「シミ、シワをとるだけではもの足りない。内面と外面の美容をトータルで見えていきたいんです

に老化を予防する方法をさぐれば患者さんに喜んでもらえるのでは? そう考えるようになりました」

そして2003年、いよいよ自分のクリニックを開院します。「実は、独立を考えていたわけではなかったんです。勤務先の先生にすすめられ、軽い気持ち

中野先生のオン&オフファッション拝見!

プライベート服

→靴はマノロのものが好き。洋服はシャネルやランバンのもが多く、ボトムはほとんどがスカートと言います。「私、パンツが似合わないんですよ(笑)。服を買うときは、実際に着てみて、ピンとくるかどうかを重要視しています」



お仕事服

←「白衣の下に着ても違和感のないものを選んでます。ブラウスやセーター、フックシーのお洋服が多いですね。学会でパリやモナコなどに行った際、まとめて購入することが多いそう。この日のお洋服はエルメスのもの。」



きれいの秘密

「疲れたときは、そのときの気分に合った、大好きな香りに包まれてリラックスします。(左)ピポフヌアンベリアルオイル、フロストキャンドル、スティック/以上エステパン (右)シルエットリラクシングバスオイル、ピュリファイングバスオイル/ともにポールシェリー

